

住民説明会結果表（質疑応答を中心に）	
開催日時	平成21年9月8日（火） 19:00～20:20
会場	一色町佐久島開発総合センター 2階 集会室
来場者数	28人
質 疑 応 答 の 要 旨	
Q	政権が民主党に変わったが、合併に対する予算への影響はあるか。
A	はっきり言ってわからない。今の合併特例法は自民党と総務省で作られたものだからです。民主党は地方の自主性を尊重している。政策の中で自治体の数を700～800にしていると言っている、これによればもっと合併は必要になると思います。合併して役場や支所が遠くなった、周辺部はさびれた、貰えるお金が貰えなかったなどという不満の声も寄せられているのも事実だと思います。この機運を逃さないよう一市三町の合併を全力で進めていきたいと思っています。
Q	離島には、学校、医療、消防など課題が多い。合併当初は住民の声が届きにくいと聞く。特例を使って幡豆郡三町で議員を増やしてもらえないか。
A	議員数は今後協議していきます。島では人口減少の中において住民の声が届きにくいという認識はあります。各市町（特に佐久島）では、それぞれ伝統、文化、コミュニティがあり、今後も各地域の住民が暮らしやすい地域づくりが必要だと思います。一体化した活動や確立性を持ちながら、全体の中へ溶け込んでいく地域自治区を是非やっていきたいと思っています。
Q	本土側の渡船場位置が変わるが、新渡船場のオープンに合せバスは即対応してもらえるのか。
A	名鉄東部バスと協議していきます。船の発着時間と合わせ3～4便の接続を考えています。新渡船場は5月の連休までにオープンします。
Q	西尾市には消防団がない。西尾市の例に統一すると消防団はなくなってしまうのか。
A	西尾市は全国で唯一消防団がない。三町の消防団は残すようお願いしていく。西尾市に条例がなければつくってもらうようお願いしていきます。
Q	合併には反対だ。小さな地域は切り捨てになるのではないか。渡船が民営化されれば、負担が増えるのでは。離島振興法は継続するのか。
A	合併協議の中で、このような不安が無いよう協議していきたいと思っています。新市は17万人規模になるため、それら多くの人たちの力で佐久島を応援してもらえる広がり期待したい。また、島民も島外からの人の受入体制に係る配慮も必要だと思います。クライנגルテンも離島振興法の中の計画です。新市の財政が豊かならば計画の対象から外れることも考え

られる。

Q 人口減少対策は何か

A 活性化そのものが対策だと考えています。人口増加には若い人の雇用の場所が大切になり、観光振興に活路を見出すしかない。島には資源が多くあり、島民とともに知恵を出し合っていきたいと思います。

Q 西尾市に観光課はあるか。文字として残して忘れられないようにしてもらいたい。

A 観光事業を取り扱っている課はあります。佐久島振興室とも議論し、職員とも思いは一つである。少しずつ良い評判を積み重ねていくことが大切だと考えています。